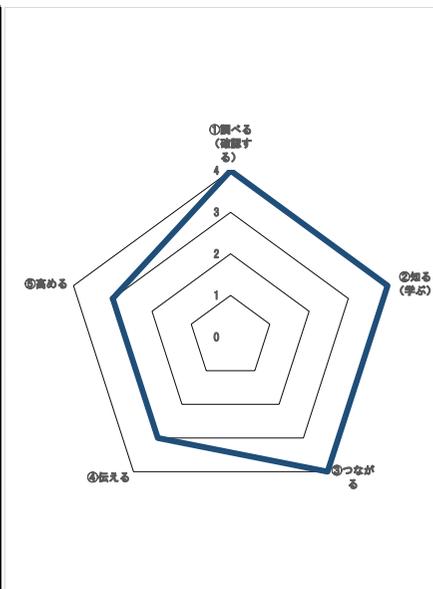


幌別小学校区

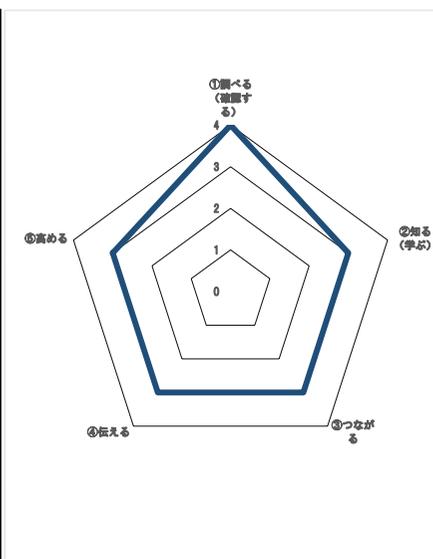
校区活動

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	定期的な校区きずな推進委員会の開催により、校区内の状況の確認を行った。もう少し踏み込んだ内容でもよかったのではないだろうか。	4	最低年2回の校区きずな推進委員会の開催を継続する。
②知る (学ぶ)	校区きずな推進委員会や住民座談会において、国や市内の動向を知る機会を設けた。学ぶ座談会であったように感じる。	4	最新の動向を学ぶことができるようテーマを設定する。
③つながる	住民座談会にて、普段顔を合わせる機会の少ない方同士での意見交換を通じて、つながる機会を設けた。防災対策や健康づくりについて意見交換を行うことができた。	4	つながりづくりとあわせて、そのつながりを深められる取り組みを行う。
④伝える	住民座談会にて、きずなの取り組みを伝えることができた。しかし、現状校区内にきずなが十分に浸透しているとはいえない。	3	伝えることと浸透することは別物であり、浸透するための取り組みを進めていく必要がある。
⑤高める	校区きずな推進委員会や住民座談会により、きずな活動に対する機運を高める取り組みを図った。しかし、十分な高まりを見せているとはいえない。	3	まずはきずなが浸透するように取り組みを進める。



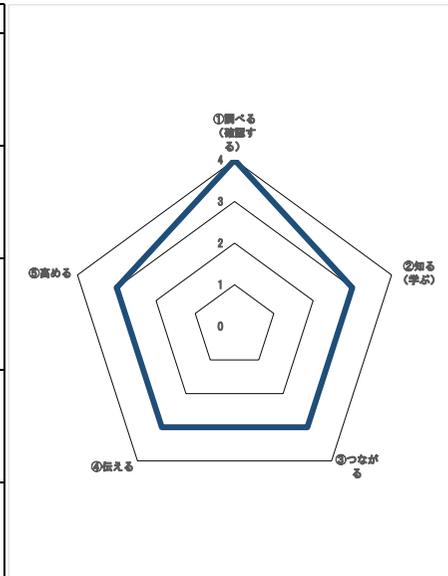
日頃からの見守り・訪問・声かけの推進

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	小地域ネットワーク活動を通じて、地域の状況を確認することができた。	4	民生委員・児童委員とも連携を図りながら、よりきめ細かい地域の状況確認を行う。
②知る (学ぶ)	住民座談会や各種会議等において進捗状況や事業説明を行った。	3	必要に応じて地区連合町内会会議や地区民生委員児童委員協議会会議等での情報提供を行う。人・しくみづくりを重要視する。
③つながる	小地域ネットワーク活動により、平時からのつながりづくりの基盤を整備した。町内会をはじめ、地域の役員が心をひとつにして見守りを強化していくことが解決を見出すのではないだろうか。	3	町内会と地域住民だけのつながりのみならず、民生委員・児童委員や他機関等とのつながりも進めていく。
④伝える	各種会議等において取り組みの重要性は伝えているが、新たな取り組みまではいたらなかった。役員だけが理解するのでは不十分。	3	取り組みの重要性は認識されているとの認識の下、実際に取り組みやすい仕組み等を伝えていき、実際の活動につなげる。
⑤高める	現在校区内9町内会で取り組まれており、実施率は5割である。	3	校区内全町内会の実施を目標に、様々なアプローチで進めていく。



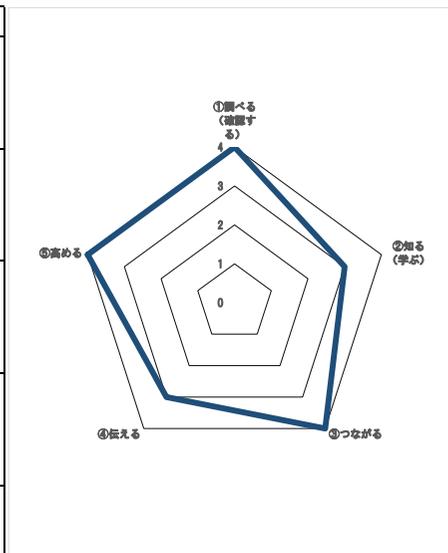
居場所・相談・つながりづくりの推進

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	サロン活動を通じて、地域住民の安否確認等を行った。	4	継続して、地域住民のつながりや状況確認等を行う機会として推進する。
②知る (学ぶ)	住民座談会や各種会議等において進捗状況や事業説明を行った。	3	事務局からの説明の機会だけではなく、活動者同士が互いの取り組みを知りあう機会を設ける。
③つながる	サロン活動において、地域住民同士及び関係機関等とのつながりづくりを行った。	3	サロン間やサロンとその他関係者がつながる機会を設ける。
④伝える	サロン活動において、きずなについて伝える取り組みは行われているが、各サロンによって温度差が生じている。	3	サロン開催が情報発信の機会になることも踏まえ、各サロンが同じ認識に立って周知等が行えるよう働きかけが必要。 日頃から積極的にサロンの重要性を第三者に伝える活動が必要。
⑤高める	現在4か所にて実施。 サロン活動は個々で取り組まれているが、校区内において互いに高めあう取り組みまではいたっていない状況。	3	それぞれで頑張っている取り組みがつながり合い、支え合い、高め合うことができるよう、まずは情報交換会の実施に向けて動きたい。



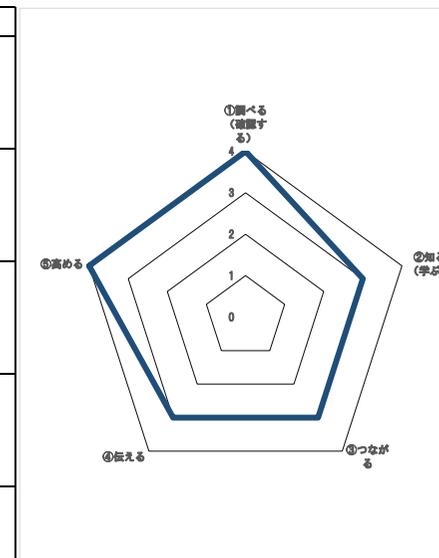
高齢者・障がい者等の声かけ見守り(向こう三軒両隣)

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	日頃からの取り組みにおいて、声かけ等は自然と行っており、地域の状況を確認するきっかけとして機能している。	4	向こう三軒両隣を合言葉に、継続して実施する。 丸ごと事業の校区拡大を広く周知する。
②知る (学ぶ)	個々で活動は実践しているが、それらを確認・知り合う機会を設けることはできなかった。	3	校区内の実践者同士の情報交換会を実現する。
③つながる	専門機関とのつながりは持っているものの、実践者同士でのつながりを密にすることが必要である。	4	校区内の実践者同士の情報交換会を実現する。
④伝える	実践者内での活動の重要性は伝わっているものの、見守られる側にも必要性を広めていく必要がある。	3	まずは情報交換会により実情を確認し、効果的なアプローチについて検討する。
⑤高める	地域のより強固なきずなづくりに寄与している。	4	従来の活動を着実に継続して実施する。



防犯・防災活動

評価指標	内容	点数	平成30年度に向けて
①調べる (確認する)	登下校パトロール等により、地域の状況を確認することができた。	4	継続して行うとともに、情報共有の場を設定する。
②知る (学ぶ)	活動そのものがPRの1つにもなっている。	3	活動者のみならず外部へも活動への想い等を知ってもらう機会を検討する。
③つながる	学校も含めた地域内のつながりは持っている。	3	関係機関等との連携強化を図る。
④伝える	改めて防犯・防災の重要性を伝える機会を設けていないが、活動を通じて伝えられている。	3	活動者のみならず外部へも活動への想い等を知ってもらう機会を検討する。
⑤高める	安定的な活動を行うことができ、地域の防犯・防災意識の向上に寄与することができた。	4	継続するとともに、適宜必要と思われる取り組みについて検討する。



校区きずな推進委員会 委員

リーダー	畑山 功一	きずな推進委員	伊清 淳彦	きずな推進委員	脇 俊昭
サブリーダー	畠山 重信	きずな推進委員	前野充紀子	校区きずな推進委員	及川 富夫
サブリーダー	竹中 脩巖	きずな推進委員	森 正信	校区きずな推進委員	武藤 紀康
サブリーダー	山崎 敏男	きずな推進委員	八島 年勝	校区きずな推進委員	今 平人
きずな推進委員	千葉 一男				

1. 校区活動

時期	名称	人数	内容
5月24日	第1回幌別小学校校区きずな推進委員会	10名	平成28年度における第3期校区きずな計画の評価について 今年度の第3期校区きずな計画取り組み内容について 今後のスケジュールについて
1月12日	幌別小学校校区きずなりリーダー・サブリーダー会議	5名	住民座談会の内容について
1月25日	第2回幌別小学校校区きずな推進委員会	8名	住民座談会の内容について
2月22日	幌別小学校区住民座談会	32名	「きずな」とは ”助け合い”が必要な背景(高齢者編) ”のぼりべつ”の今とこれから 「きずな」事業(生活支援編) ワークショップ「ひとり暮らしの方を支えるために必要なこと」
3月30日	第3回幌別小学校校区きずな推進委員会	9名	住民座談会の振り返りについて 今年度の校区きずな活動の評価について 次年度の校区きずな活動の内容について

2. 日頃からの見守り・訪問・声かけ(小地域ネットワーク活動)

新栄町内会	南千歳町内会	中央町十字街町内会
千歳町内会	常盤町内会	中央新生町内会
緑ヶ丘町内会	中央町駅前町内会	中央町内会

実施率 50.0% (9 / 18)

3. 居場所・相談・つながりづくりの推進(ふれあいいきいきサロン、ふれあい会食会)

ふれあいいきいきサロン

ゲンキアップニナルカ	中央東町内会いきいきサロン
いきいきサロン南千歳	常盤ラポール・サロン
われら、いきいき探偵団	

ふれあい会食会

千歳町内会	南千歳町内会	中央町内会
ニナルカ町内会	常盤町内会	中央東町内会
緑ヶ丘町内会	中央町十字街町内会	

実施率 44.4% (8 / 18)